

2022 年度 動物実験実施状況

神奈川工科大学

2023 年 6 月

1. 実験動物の飼養及び保管状況

(1)動物種

- ・マウス、ラット

(2)動物数

- ・2023年3月31日時点での飼養数
マウス:0、ラット:0

(3)施設の情報

- ・飼養保管施設の総数:1
- ・飼養保管施設の名称:バイオサイエンスセンター

2. 2022年度動物実験計画書の承認件数

- ・4件

3. 2022年度教育訓練の実績

- ・実施月日 : 2022年3月29日

- ・実施内容の概略 : 応用バイオ科学科の学生(3名)に対して、卒業研究で動物実験をするにあたり、科学的観点、動物愛護の観点、環境保全の観点及び学生の安全確保の観点から、神奈川工科大学動物実験規程及び内規に従い、教育訓練を実施した。

- ・実施月日 : 2022年4月13日

- ・実施内容の概略 : 管理栄養学科2年2組の学生(21名)、助手(1名)に対して、「基礎栄養学実験」の授業で動物実験のサンプルを使用するにあたり、科学的観点、動物愛護の観点、環境保全の観点及び学生の安全確保の観点から、神奈川工科大学動物実験規程及び内規に従い、教育訓練を実施した。

- ・実施月日 : 2022年6月8日

- ・実施内容の概略 : 管理栄養学科2年1組の学生(23名)に対して、「基礎栄養学実験」の授業で動物実験のサンプルを使用するにあたり、科学的観点、動物愛護の観点、環境保全の観点及び学生の安全確保の観点から、神奈川工科大学動物実験規程及び内規に従い、教育訓練を実施した。

- ・実施月日 : 2022年6月17日
- ・実施内容の概略 : 臨床工学科の教授(1名)、技術サポート員(1名)、非常勤講師(1名)に対して、本学で新規に動物実験をするにあたり、科学的観点、動物愛護の観点、環境保全の観点から、神奈川工科大学動物実験規程及び内規に従い、教育訓練を実施した。訓練はZoomでの説明の後、動物室に行き使用方法等について説明した。

- ・実施月日 : 2022年7月6日
- ・実施内容の概略 : 臨床工学科の学生(1名)に対して、卒業研究で動物実験を行うにあたり、科学的観点、動物愛護の観点、環境保全の観点及び学生の安全確保の観点から、神奈川工科大学動物実験規程及び内規に従い、教育訓練を実施した。

- ・実施月日 : 2022年9月13日
- ・実施内容の概略 : 応用バイオ科学科の学生(1名)に対して、卒業研究で動物実験を行うにあたり、科学的観点、動物愛護の観点、環境保全の観点及び人獣共通感染症対策を含めた学生の安全確保の観点から、神奈川工科大学動物実験委員会が作成した動物実験教育訓練テキスト(2022年4月版)を用いて、教育訓練を実施した。

4. 動物実験委員会

- ・動物実験に関して優れた識見を有する者:

| | | | |
|----------|----------|-----|----|
| 応用バイオ科学部 | 応用バイオ科学科 | 教授 | 1名 |
| 健康医療科学部 | 管理栄養学科 | 教授 | 1名 |
| 応用バイオ科学部 | 応用バイオ科学科 | 准教授 | 1名 |
- ・実験動物に関して優れた識見を有する者

| | | | |
|---------|--------|----|----|
| 健康医療科学部 | 管理栄養学科 | 教授 | 1名 |
|---------|--------|----|----|
- ・その他学識経験を有する者

| | | | |
|----------|----------|------|----|
| 応用バイオ科学部 | 応用バイオ科学科 | 教授 | 1名 |
| 外部委員 | | 客員教授 | 1名 |